

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

金色に輝くような秋吉台 とけた霜が朝日に映える

秋吉台といえば緑の草原という印象がありますが、他にも四季折々の変化のある風景が楽しめます。今月は例年になく暖かい日が続いた1月でした。とはいっても朝夕の冷え込みはマイナスの気温になることがあります。そんな朝には、枯れ草の上に真っ白に霜が降ります。その霜が朝日にとけて輝くようすは、まさに「金色の秋吉台」です。
ちょっと寒いですが、少し早起きをして出かけてみてはいかがでしょうか。



花も実もある秋吉台

吉祥をもたらすキチジョウソウ

花が咲くと吉祥をもたらすといわれるキチジョウソウですが、その花後には艶のある紅紫色の実がつきます。長い葉の陰にあるので、よく見ないとわかりません。きれいです。

シュロの実は、高い木の上にあるため、有ることに気がつきません。木の周りの地表には、小さな新芽がいくつも育っています。

クズ。マメ科らしい実をつけます。ツルがはびこるので、刈り払うときに草刈り機にからみ付いて面倒です。嫌われる代表ではないでしょうか。根茎を掘り上げて「くず粉」を採って利用すれば一石二鳥かと・・・。



観察会「冬眠中のコウモリを見る」(1月12日)

鳴き声が聞こえた?

三角田洞に入って静かに冬眠しているコウモリを観察しました。今年は幾分暖かいためか、近くで見えるところで観察ができました。キクガシラコウモリは、いくつも大きなかたまりのようになって天井にぶら下がっていました。岩のくぼみなどで小さく丸くなって眠っているモモジロコウモリが数か所で見られました。子供たちは「可愛い、可愛い」とそっと覗き込みます。岩の隙間のテングコウモリは、冬眠の邪魔をされたと思ってか、機嫌が悪そうでした。



観察会「森の昆虫教室・冬」(1月27日) 朽ち木の中からコクワガタ(幼虫)

昆虫の冬越しの様子を観察する「森の昆虫教室・冬」を行いました。前日の積雪が残るエコ・フィールドを散策して、参加者の皆さんは熱心に講師の角田先生の説明を聞いていました。石灰岩の下で冬眠していたカメノコテントウの大きさには驚きと感動でした。

後半は室内にもどって、朽ちた竹や木の中で冬眠している昆虫を観察しました。コクワガタの幼虫が見つかった時には「オーッ」と興味深々にのぞき込みました。



地域の伝統行事 「赤郷どんと焼き」

赤郷どんと焼きが1月8日、赤郷交流センター敷地内で行われました。

これは無病息災や五穀豊穡などを願って、赤郷小学校の始業式の日に行われました。

ふるさと伝承グループ赤郷会の皆さんが準備をして、全校児童7人が一斉に火を入れると、パチパチと勢いよく音をたてて燃えはじめ、晴れた空へと煙が舞い上がりました。

その後、ぜんざいときな粉餅がふるまわれました。

子どもたちは幾つもお餅を食べて元気いっぱいでした。



2月の行事

2月17日(日)

観察会「カエルの観察」

ニホンヒキガエル、ヤマアカガエルの産卵の様子を観察します。